

## 第 18 回吉岡弥生記念講演会 (東京女子医科大学学会第 326 回例会)

日 時：平成 14 年 5 月 22 日 (水) 14:00~15:55  
会 場：弥生記念講堂

(司会) 幹事 川島 眞

### 第 41 回吉岡弥生研究奨励金授与式

挨拶

学長 高倉 公朋

選考経過

選考委員 溝口 秀昭

吉岡弥生研究奨励金授与

学長 高倉 公朋

受賞者

Smad7 転写調節による腎線維化制御に関する研究

(第四内科学) 内田 啓子

X 連鎖性精神遅滞と X 不活化の関係についての検討

(小児科学) 松尾 真理

### 第 40 回受賞者研究発表

座長 副会長 澤口 彰子

マウス炎症性腸疾患を母地に発生した

大腸癌におけるアポトーシス制御の検討

(消化器内科学) 春田 郁子

### 第 18 回吉岡弥生記念講演

挨拶

理事長 吉岡 博光

座長 会長 高倉 公朋

弥生先生を語る

昭和 10 年卒業生 今野 信子

自分を見つめて、世界を見つめる

女優・国連開発計画親善大使 紺野美沙子

### マウス炎症性腸疾患を母地にした大腸癌におけるアポトーシス制御の検討

(消化器内科学)

春田郁子

マクロファージ (mφ) より分泌される AIM (apoptosis inhibitor expressed by macrophages) 蛋白は, scavenger receptor cystein rich super gene family (SRCR) に属し, 胸腺における T 細胞の positive selection のステップで apoptosis を抑制する働きを持つ. また, 肝臓では *Propionibacterium acnes* 感作→LPS 誘発マウス実験肝炎で, in vivo, in vitro ともに phagocytosis 能の亢進を示すことが明らかとなった.

我々はこの AIM に関し, マウス腸炎モデルの MHC class II knock out (−/−) と AIM −/− のダブル

knock out マウスを作製し, AIM の有無で腸炎の重症度に相違があるかを検討した. この結果, このモデルにおける炎症の程度と AIM の有無の関係に有意な相関は認められなかった. 一方, AIM +/− に比べ AIM −/− 群で高分化腺癌を有するものが認められた. これらの事実を明らかにするため, AIM の作用を in vitro で更に検討した. この結果 AIM の作用として, phagocytosis 能の亢進に加え, mφ からの炎症性サイトカインの分泌を up-regulation する可能性が示唆された. 炎症性サイトカインの分泌調整のバランスの不均衡が, 間接的に発癌に関与している可能性を考え, 現在解析を行っている.